テーマ「方言で笑った、困った、しくじった」

硬軟さまざまなテーマについて、皆さんから意見をいただく「みんなのフォーラム まざらいん」が始まりました。初回は、参加しやすいテーマとして「方言」を取り上げてみました。河北新報の会員組織「かほピョンくらぶ」の会員に、「笑った、困った、しくじった」などのエピソードを募集したところ、1200を超える回答がありました。ほんの一部ですが紹介します。

群馬に住んでたころ、仙台出身の母が「ごみをなげる」と言ったら、近所のオバハンたちに、遠くを見るようなしぐさ（額に手をあてて）で「どこまで投げるの～？」と揚げ足を取られたそうです。
（宮城県・30代・女性）
－頂いたエピソードで一番多かったのが、「なげる＝捨てる」でした。

埼玉に転校したときに、「いずい」を説明するのに困った。仕方なく「パンツを前後ろ逆にはいた感じ」と言ったら、好きな子に爆笑された…。（宮城県・40代・女性）
－分かりやすい例えだったのに…。

神奈川のスポーツ用品店で、「○○のジャスあるすか」と聞いて、店員さんから「何でしょうか」と問い返され「んだがら、ジャスっしゃ」と押し問答を繰り返した。
（宮城県・50代・男性）
－体操着のジャージーですね。正しくは最後の「ジ」は伸ばすそうです。

横浜での学生時代。「（授業に出るのが）いきなり、やんだな」と思わず言ったところ、友達から「雨は降ってないぞ」と答えられてしまい、大笑いでした。（宮城県・40代・男性）

東北地方以外の方に「んだからぁ」と、「そうでしょう！」と共感を求めるようなニュアンスで発しても、接続詞の「だから」と誤解されて、じっと次の発言を待たれていた。
（仙台市・40代・男性）
－まさに、んだがら。

「その箱まずら取って！」と言ったら高校生の女の子に「これ『はこまずら』って言うんですか？」と聞かれた。箱ごとって意味なんだけど。（宮城県・50代・女性）

東京に住んでいたころ、飲み会でつい方言が出てしまい、座が一瞬凍りついた。バンド演奏が開始し、ライトがまともに私の目に。大きな声で「まつぼいごだ！」。
（宮城県・50代・男性）
－やっちまいましたね！

病院で、「ぐいわり（具合が悪い）、ぐいわり」と言っても通じなかったことがあります。
（宮城県・30代・女性）

子どもが保育園の時にベストを着せてやった時、先生に「今日つんぬき着てきたの～」と言って、先生がわからなくて…。言っちゃったと思って笑えました。（宮城県・40代・女性）
－めんこい！

歯科研修の学生に「ねばしたところ…」と言ったら、「ねばすってどういう意味ですか」と言われ、説明に困った。
（仙台市・70代～・女性）
－くっつける、という意味ですね。

小学校の放送委員会の子どもが「廊下の金魚はちょさないでください」と放送した。
（仙台市・60代・男性）

「あべ（行く）」を丁寧に言えば、共通語だと思い込んでいた知人がいました。東京に行った時のことです。彼女は、すまし顔で「さあ、あべましょう！！」
（仙台市・40代・女性）
－はーい、あばりましたぁ（笑）。

学生のころ、山形出身の先生が授業中、机の端を持って「そっちたがいで！」と言ったので、私も机の端を持ったのですが、みんなキョトンって顔で立ってました。
（仙台市・40代・女性）

東京の後楽園ホールで「しずねーな（うるさいな）」と言ったら、隣の見知らぬ人が「しずねーなって何？」と仲間らしき人に聞いていた。「しずねー」は標準語だと思っていたので恥ずかしかった。
（宮城県・30代・男）

宮城出身の先輩に「たごまるって分かるよね？」と聞かれた。なぜかと思ったら、本社に書類を提出したら分からないと問い合わせが来たらしい。「たごまるは、たごまるだ！」と怒っていたことがある。
（宮城県・50代・女性）
－「たごまる」は説明が難しいです。

北陸出身の夫に結婚当初、「茶わん、うるかしといて」と言ったら、ポカンとしてました。初めて方言だと悟りました。
（宮城県・50代・女性）

介護施設で、お年寄りにベッドにうつぶせになってほしいということが通じず、「ぬだばるんだそうです」と言うと、ぬだばってくれました。（宮城県・30代・女性）
－これは知らない言葉でした。

ボランティアに来てた人が、子どもに「おだづなよ」の意味を聞いていました。しみじみ、方言なんだと感じました。
（宮城県・30代・女性）
－方言を使うと仲間意識が生まれますよね。